

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	消防施設耐震化整備事業		担当部署	消防本部 消防総務課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	建築基準法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 26 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終 期
(小項目)		消防			
施策	2	消防体制の充実			
基本事業	2	消防力の強化			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 本市の消防団詰所のうち、旧耐震基準による31分団詰所														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	大規模災害発生に備えた消防団拠点施設を整備するため、消防団詰所で耐震基準を満たしていない建物を対象に、消防団詰所の耐震化整備を実施する。														
事業計画	26年度に何を計画していたか	鳴門市消防団詰所整備計画に基づき、平成26年度整備予定の施設を耐震化する。 【耐震診断】 ・川東分団、堂浦分団、板東分団 【改築設計】 ・堀江南分団、椋分団														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震化着手数</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>25</td> <td>棟</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位	耐震化着手数	0	5	10	13	25	棟
指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位										
耐震化着手数	0	5	10	13	25	棟										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①鳴門市消防団のあり方検討会を3回開催し(9/16,10/27, 11/20)、委員へ説明を行った。 ②鳴門市消防団詰所整備計画を元に副団長会にて説明、該当分団長等へ説明を行った。 ③改築設計については、地元分団員へ説明、及び団員からの要望を伺い調整した。 ④特に、堀江南分団は津波浸水地域であることから、地元住民等からも屋上避難施設の要望があり、その点も含め設計した。なお、再編に関係しない詰所から優先的に耐震化を実施する。																																																								
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>25年度実績</th> <th>26年度実績</th> <th>27年度目標</th> <th>28年度目標</th> <th>29年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標 実施した事業の活動量を示す指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 耐震診断</td> <td></td> <td>3</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>棟</td> </tr> <tr> <td>2 耐震設計</td> <td></td> <td>2</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>棟</td> </tr> <tr> <td>3 耐震工事</td> <td></td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>棟</td> </tr> <tr> <td>成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震化着手数</td> <td></td> <td>5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>棟</td> </tr> <tr> <td>目標達成率(実績/目標)</td> <td></td> <td>100.0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位	活動指標 実施した事業の活動量を示す指標							1 耐震診断		3	7	4	10	棟	2 耐震設計		2	1	8	6	棟	3 耐震工事		0	2	1	9	棟	成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標							耐震化着手数		5	—	—	—	棟	目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%
指標名	25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位																																																				
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標																																																										
1 耐震診断		3	7	4	10	棟																																																				
2 耐震設計		2	1	8	6	棟																																																				
3 耐震工事		0	2	1	9	棟																																																				
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標																																																										
耐震化着手数		5	—	—	—	棟																																																				
目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%																																																				
今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況	計画どおり																																																							

(千円)

財源内訳	平成26年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		388	0	10,200	0	8,581	19,169
		全体予算額		1,404	0	10,100	0	3,018	14,522
		決算額		1,404	0	6,100	0	3,016	10,520
		繰越額		0	0	3,000	0	2	3,002
	人件費		正規職員(6878千円/人)	臨時職員(2,012千円/人)	総人件費		総事業費		
			0.0		0	10,520			

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費		10,520	79,800	120,000	150,300
	うち一般財源		3,016	11,960	-	-
	人件費		0	0	0	0
	総事業費	0	10,520	79,800	120,000	150,300

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		各地区ごとの旧耐震構造・老朽化の著しい詰所から耐震化することで、消防団員の安全確保と地域防災力の強化となる。
	効率性	A:効率的だった		消防団担当者が無駄な事業費をかけず、効率よく耐震化計画に基づき実施した。
②成果に対する評価	指標名	耐震化着手数		耐震化計画に基づき、目標通り達成できた。
	目標	5	棟	
	実績	5	棟	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		目標通り達成したことから、A評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成31年度までの5年間で全ての分団詰所を整備予定であるが、社会資本総合整備補助金を充当できる詰所から耐震診断⇒設計⇒工事となるため、補助金の充当状況により、計画が遅れる可能性がある。 また、再編の枠組みによっては、連絡所や集会所との合築となったり、地元の理解が得られない場合には計画の遅延や変更等も想定される。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	【耐震診断】 黒崎、高島、北泊、島田、明神、三ヶ谷、堀江中分団 【改築設計】 川東分団 【改築工事】 堀江南分団、楡分団			
	H28年度	【耐震診断】 里浦北、里浦仲、三ヶ谷、池高分団 【改築設計】 黒崎、高島、北泊、島田、明神、三ヶ谷、堀江中、板東分団 【改築工事】 川東分団			